

土壤複合センサー 取扱説明書

型番 : VGT-WD5



概要

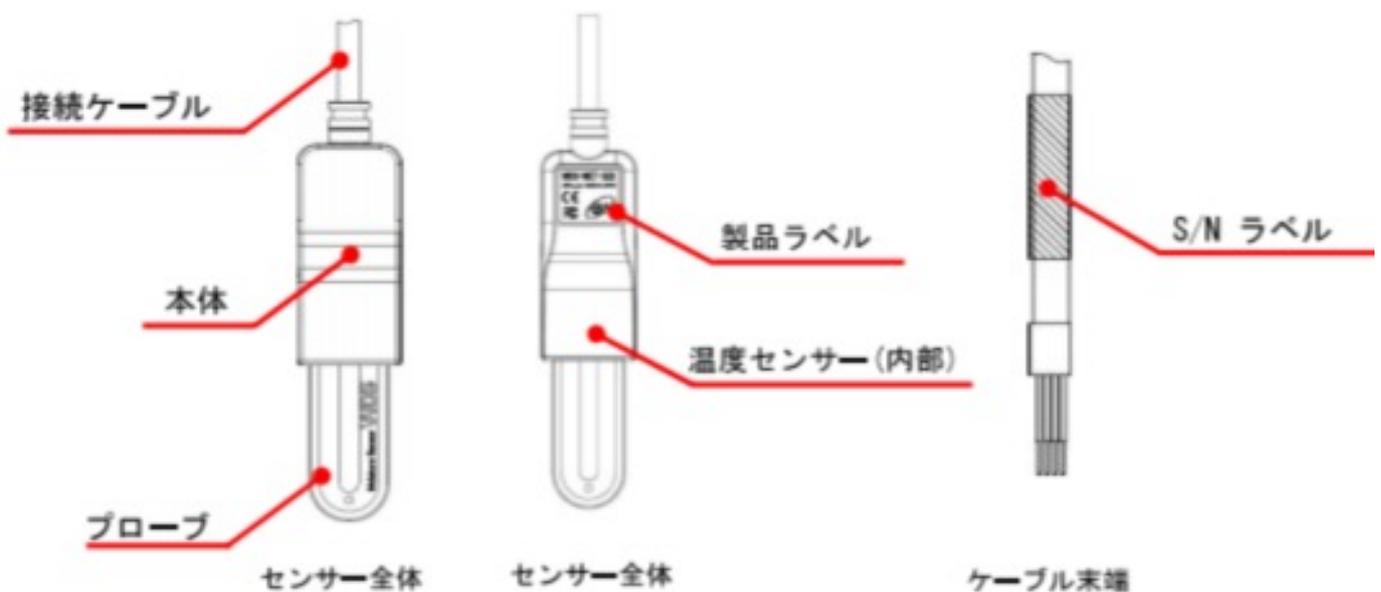
土壌複合センサーは、土壌等の体積含水率（VWC : Volumetr Water Content）、電気伝導度（EC : Electrical Conductivity）、温度の測定が可能で土壌中の状態分析に最適です。

【農作物の収穫拡大、安定収穫、品質向上】、【生産コスト削減（節水、肥料や培養液費用等の節約）】にお役たてください。

・ 1台で3役：

3種類のセンサーを搭載（土壌中の水分量、養分濃度、温度）

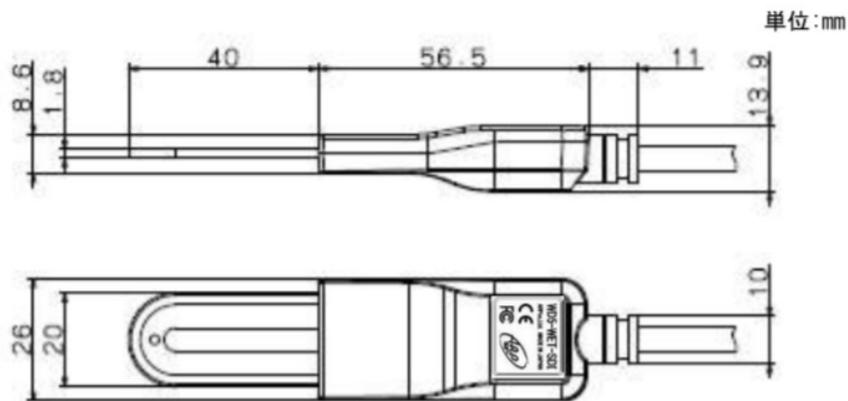
- ・ 長期土壌埋設が可能（防水機能 IP68相当）
- ・ 校正は必要なし（製品個体差なし（性能のばらつきなし））
- ・ 高い品質保証（国内生産による安定した品質を保証）
- ・ 小型、軽量（現モデル比較により、75%）



プローブセンサー図

仕様

寸法：



ケーブル長：5m

測定対象		仕様	
分類	項目	測定範囲	精度
土壌複合センサー	温度	-10~+60℃	±1℃
	水分量(体積含水率)	0~100%	±10%(50~100%), ±3%(0~50%)
	EC(電気伝導度)	0~7 dS/m	±0.35dS/m

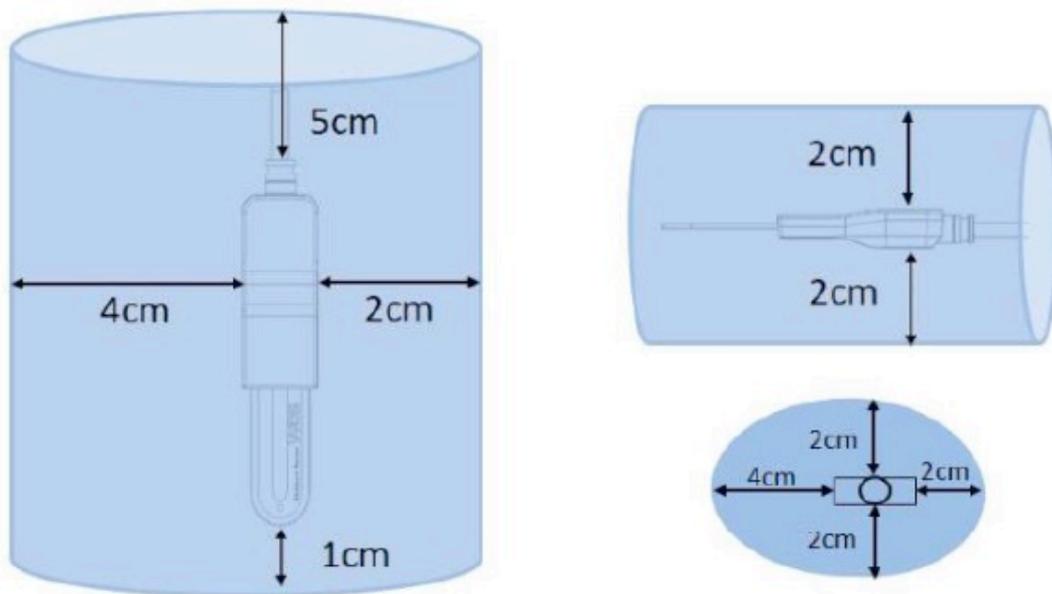
注意事項

- プローブ破損の原因となりますので、プローブに無理な力を加えないでください。
- 有機溶剤（ベンジン、アルコール、アセトン、エーテル、ケトン、シンナー、ガソリン系の有機溶剤が含まれる溶剤）を本製品に付けないでください。変形や変色することがあります。
- 本製品を火の中へ投入。加熱はしないでください。

設置方法①

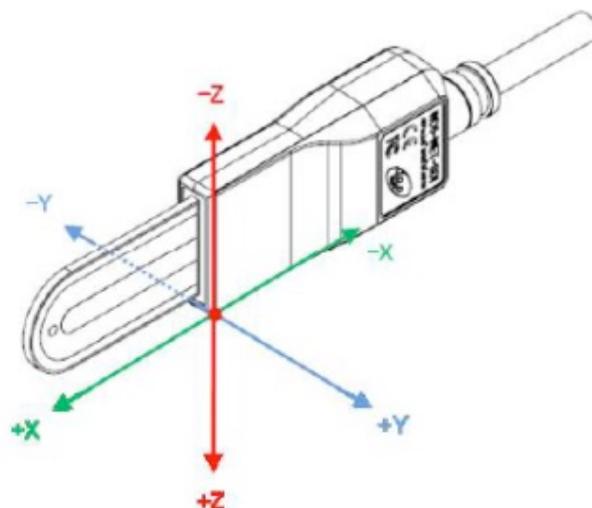
＜測定検出範囲＞

センサー本体の測定検出範囲について、下記の記載します。



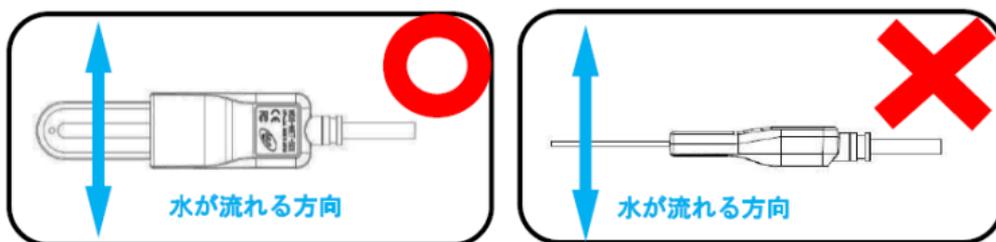
＜設 置＞

1. 土壌等の被測定対象に埋設して使用してください。
2. 下記図のように横向きに立てて埋設して頂くと土壌の水の流れを遮ることなく正確な測定ができます。

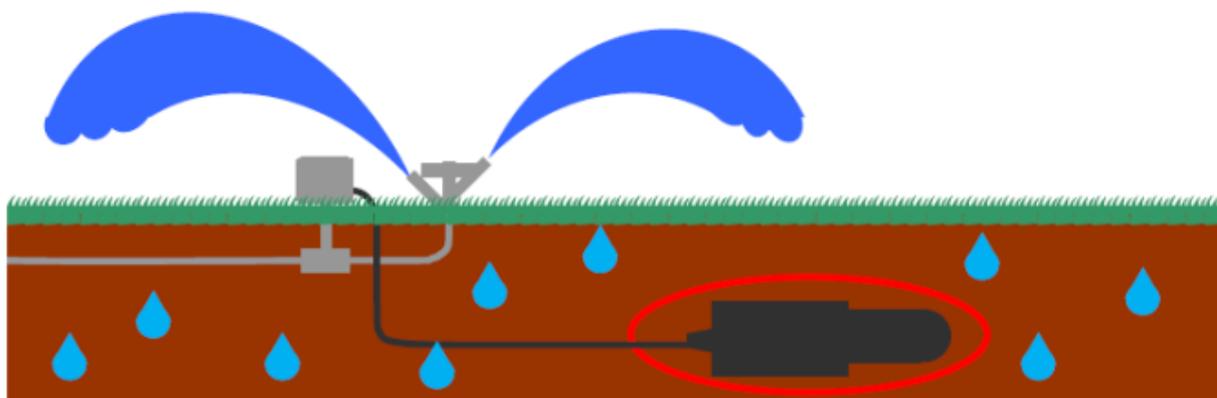


土壌複合センサー 取扱説明書

3. 水の流れを遮る様な向きでの埋設はおすすめしません。



4. センサーを埋設の際には、土壌を掘り出しプローブを傷つけないように埋めてください。プローブ部で掘り起こす行為や砂利等に突き刺す行為はプローブを傷つけ故障の原因となる恐れがあります。



埋設全体図

5. センサー本体の測定検出範囲以内に金属類もしくは他のセンサー、モーターなどを設置しないでください。測定値に影響を与える場合があります。
6. 埋設したセンサー本体を土壌より掘り出す際、ケーブルを引っ張って取り出さないでください。センサー部に負担が加わり故障の原因となる恐れがあります。